

大学ウォッチ 首都・近県

中央大学

地域活性マインドを有する高度職業人の養成

平成20年度 教育GP選定

ここ数年、経済のグローバル化にともない、地方分権の実効性をもたらす政策課題が重要となっている。とりわけ、地域活性化の課題に対応するための政策には、

地域の歴史的な背景に基づき、自治体あるいは地域レベルにおける持続的な取り組みをベースにしながら、「計画・実施・評価・改善」プロセスを推進する人材の養成が急務である。



そこで、中央大学経済学部では、『地域活性マインドを有する高度職業人の養成』の取り組みの特長は、平成16年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」において同大学院で『中大・八王子方式』による地域活性化を通じて構築した地域活性スキームを、

性マインドを有する高度職業人の養成』の取り組みに力を注いでいる。これは、国内外6地域において、自治体職員、住民、NPO、地元大学などと連携して、地域活性マインドを有する高度専門職業人を養成しようというものである。文部科学省の「平成20年度質の高い大学教育推進プログラム」にも選定された。

同大経済学部が19年度から新カリキュラムで導入したクラスター教育プログラムにおいて展開することにある。基本科目および関連・発展科目を通じた体系的な学習に加え、実践的フィールド教育を実現することで、高度専門職業人としての活躍に必要なスキルや能力の養成・獲得を目指す。



実際に東京都八王子市、日野市、岩手県紫波町と共同で地域活性化プランを策定して実施、その成果を東京都町田市、埼玉県秩父市に広げて推進。さらに、参加学生の作成レポートをWebサイト上に日本語・中国語・英語で発表したり、中国天津市と同大との共同授業による日中地域経済開発プログラムを通じて、直接現

地を訪れ中国人教員と自治体関係者から講義・指導を受ける機会を提供するなど、国際的視野とコミュニケーション能力を養成している。

大学の枠を超えた国内地域や国際社会の場において融合的に実践・展開することで、生きた学問の体得とともに、地域社会の活性化に貢献できる高度専門職業人の安定的な輩出が期待される。

明治大学

一ナリストの卵を育成

研究室

明治大学の基礎マスコミ研究室は1985年に創設され、2002年より政治経済学部付属の組織、総合政策研究所の1部門として再スタートした。専任教員やマスコミ業界の第1線で活躍す

基礎マスコミ研究室長であり政治経済学部教授の竹下俊郎先生。政治経済学部の学生のみならず、同大学全学部の学生にその門戸は開



いる。また、学生が新聞班、広告班、テレビ班、アナウンス班に分かれ、班ごとにテーマを掲げての自主活動も活発だ。

さらに、政治経済学部では「T.T.I.」2008年度から「ジャーナリスト育成プログラム」を立ち上げ、学部設置されたジャーナリズムやマスコミコミュニケーション関連科目の履修、ニュース時事能力検定、

らは、「夢に向かって切磋琢磨しながら互いを刺激しあえる仲間に出会えた」「マス研は、夢を実現するために本気で戦っている最高のフィールドだ」「大学生活を楽しむためにもマス研に入ることをおすすめ」などの熱い言葉が寄せられている。

学院大学

1/中国文学科/外国語文化学科/学科
法律専攻/法律専門職専攻/政治専攻/経済ネットワーク学科/経営学科/健康体育学科

KU 神奈川大学

世界へ、そして未来へ
法学部/法律学科 自治行政学科
経済学部/経済学科 現代ビジネス学科
経営学部/国際経営学科
外国語学部/英語英文学科 スペイン語学科 中国語学科 国際文化交流学科
人間科学部/人間科学科
理学部/総合理学プログラム 情報科学科 化学科 生物科学科
工学部/機械工学科 電子情報フロンティア学科 物質生命化学科
情報システム創成学科 建築学科

首